



決勝レポート

2011/11/6 Rd-7 ツインリンクもてぎ

天候：曇のち雨 気温：18℃ 出走台数：17台

観客数：5日(土)6,000人 6日(日)9,000人

予選から一夜、早朝はまだ霧雨が残り、路面はWET。しかし、明るくなるにつれ雨は上がるも路面はウェットのまま。先読みの難しい天候の中、決勝レースは各チームの思い交錯する熱い展開となった。

午前中に行われた23週の決勝レース1。雨はやんでいるが路面はまだ濡れた状態、チームはレース展開とフリー走行結果からドライタイヤを選択。何としても今シーズン1勝を狙う2番グリッドスタートの塚越選手は、路面の濡れたイン側スタートゆえにややホイールピンが多く、2台に先行され4番手に。伊沢選手は、中盤グループで起きた混乱をすり抜け、8番手で、それぞれオープニングラップを周回した。

レース序盤こそ、ウェットタイヤ選択車両にパスされたが、路面好転とともに難なく抜き返し、6周目には塚越選手3番手、伊沢選手6番手で、なおもトップタイムを更新しながら前を追う。ところが、残りわずか3周となった20周目に、伊沢選手の車両に電気トラブルが発生。伊沢選手は残念ながらそのままリタイヤを余儀なくされた。塚越選手は難しいコンディションの中手堅い走りで、3位チェッカーを受けた。

決勝レース2は、タイヤ交換義務付のある34週のレース。天候は相変わらずはっきりせず、スターティンググリッドに着いたタイミングでは霧雨でドライタイヤ装着していたが、スタート10分前から雨が降り始め、全車ウェットタイヤに交換してのスタートとなった。まずまずのスタートを決めた塚越選手であったが、シグナル直前に車両が動いてしまいペナルティの裁定が下る。結果3周目時点で3位走行からドライブスルーにより15位までポジションを落とした。

伊沢選手はいい動きだしを見せ、10番スタートから一気に7位までジャンプアップ。

3周目には6位へ。すぐさま先行車に追いつき、6周にわたりテールtoノーズでハードプッシュするも9周目に接触してしまう。この接触でフロントウィングとタイヤを破損した伊沢選手は、ピットインを余儀なくされ15位までポジションを落とす結果に。さらに60秒加算のペナルティも受けてしまう。

10周目には、強くなった雨とコース上の破損パーツ除去のためセーフティーカーが導入されたが、セーフティーカーコントロール中に多重クラッシュが発生し、即座に赤旗が掲示されレースは中断となる。

およそ20分後、セーフティーカー先導による再スタートが切られ、塚越選手はわずか3周で2台をパスし8位まで、伊沢選手も10位まで順位を戻し、大雨の混戦を終えた。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

40：伊沢選手 決勝レース1 リタイヤ、決勝レース2 10位

2011 シリーズランキング 9位

レース1では6位まで挽回したところで電気系トラブルが発生してしまい車を止めました。

レース2での接触は私のミス。いいペースだったので、とてももったいないことでした。

私としては、今シーズンはかつてなく感触のいい状況でしたが、ポイントの取りこぼしが多く、高いレベルにあるチーム力を生かし切れませんでした。

今この瞬間から、チーム一丸となって来期に向けて準備を始めます。

熱い応援をいただいた ファン、スポンサーの皆様、最高の環境を準備してくれたチームに感謝しています。

41：塚越選手 決勝レース1 3位、決勝レース2 8位

2011 シリーズランキング 4位 HONDA 勢首位

レース1のスタートでは、ホイールスピンが多くなってしまい、順位を落としてしまいました。車はとても良くまどまっていたのですが、上位2台には届きませんでした。

レース2のジャンプスタートは完全に私のミス。もてぎに集まってくれたファンやスポンサー、チームのみんなに申し訳なく思います。雨脚が強くなるとペースが維持できませんでしたが、再スタート後の初期は状態もよく、いくつかポジションアップできました。

しかし後半はリアが不安定でこれ以上いけませんでした。

初タッグとなった DOCOMO TEAM DANDELION RACING との1年は、シーズンを通してレベルの高いところで戦うことができたと感じています。特に予選では常に上位争いができました。レースでは全戦表彰台でもおかしくないポテンシャルがありながら、結果に繋げることができなかつたのは、今後の課題です。

1年間常に全力で臨んできました。来季はさらに強くなります。

皆様今後も声援をお願いします。